事例No.	2766
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	前川　穎司

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・歳入確保

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

300 年先を見据えた
榧の森づくり

出典

令和３年度ふるさとづくり大賞事例集

chapter 23



ふるさとづくり大賞 ―個人表彰―

300年先を見据えた 樫の森づくり

前川（まえかわ） 穎司（えいじ）



取組の概要

碁盤や将棋盤は樫の木が最高級とされている。木目の美しさや手触り、香り、石を打つ時の響く音など、囲碁から樫の魅力に取りつかれ、40年程前から碁盤の収集を開始。その後、樫は素晴らしい素材でありながら日本の山や市場から姿を消していこうとすることを知り、その存在と価値を守るため、「樫の森づくり」を決意した。成長が遅く、成木になるのに300年かかると言われている樫の木を、種苗業で培った育種の知識を元に種から苗を育て、その苗を高知県内に植え続けた。高知県内に30年で30万本以上の樫を植えて、樫の森づくりに取り組んでいる。

取組のプロセス

・素晴らしい素材でありながら日本の山や市場から姿を消していこうとする、この樫の存在と価値を守りたいという思い

1980年代～ → **きっかけ**
囲碁から樫の魅力に取りつかれ、碁盤の収集を開始し、樫の木そのものに魅力を感じ、樫の苗を育て植える活動を開始

1980年代～

樫の木の植栽

・樫の苗を種から作り、育った苗を香美市を中心にこれまで30万本以上植栽
・人の手がかけられなくなった荒れ地の整備をしながら、樫の苗を植え続けている





2005年～

「樫工房かやの森」の運営

・樫の木の加工品の販売や魅力を発信
・地ビールへの原料提供など、地元産品の商品化においても他企業等との連携・協力を行っている






・日曜市での樫の販売をきっかけに学校の先生などから講義の依頼

2012年～

「樫工房かやの森」日曜市に出店

・日曜市に店舗を出店

2017年～

教育現場への貢献

・高知県の小学校道徳地域資料に取り上げられ、県内の小・中学校における森林環境教育を取り扱う際に講演を依頼されるなど、地域の教育現場にも貢献している

今後の展望

【樫の森を育て、守り続けていく】
・一部植栽を続けながら、既に植栽された山の保育作業を中心とした森林整備を続ける他、加工品の販売についても継続的に取り組んでいき、樫のことをたくさんの人に知ってもらえるよう取り組んでいく

DATA

事例名：『３００年先を見据えた樫の森づくり』
　　前川　穎司
所在地：高知県高知市相生町６番３号
連絡先：TEL　088-880-5188
　　FAX 088-883-5208
　　E-mail info@kayanomori.com
ホームページ：https://www.kayanomori.com/

